

# 2018年3月期 第3四半期 業績概要

橋本 裕一

アンリツ株式会社  
代表取締役社長 グループCEO

2018年1月31日



東証第1部 : 6754  
<https://www.anritsu.com>

**Anritsu**  
envision : ensure

# 注 記

---

本資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。将来の業績等に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関する説明における「計画」、「戦略」、「確信」、「見通し」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されるものではありません。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、米州、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場の中でアンリツが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートなどです。

なお、業績に影響を与えうる要因はこれらに限定されるものではありません。また、法令で求められている場合を除き、アンリツは、あらたな情報、将来の事象により、将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。

---

# 目次

I. 事業概要

II. 2018年3月期第3四半期 連結決算概要

III. 2018年3月期 通期業績予想（連結）

IV. 2018年の年頭にあたって

-5G/IoTで新たな時代を切り拓く-

Appendix. 5G最新動向とテストソリューション

# I. 事業概要

## T&M事業

開発・製造・建設・保守用

- ▶ モバイル市場 : LTE, 3G
- ▶ ネットワーク・インフラ市場 : 有線・無線NW
- ▶ エレクトロニクス市場 : 電子部品、無線設備



## PQA事業

- ▶ 食の安全・安心
- ▶ X線異物検出機
- ▶ 重量選別機



## その他

- ▶ IPネットワーク機器
- ▶ 光デバイス



(セグメント別売上比率) 2017年3月期 実績 (連結) : 876億円

T&M 68%			PQA 22%	その他 10%
モバイル 45%	ネットワーク・インフラ 35%	エレクトロニクス 20%		

(T&M事業 地域別売上比率)

日本 18%	アジア、パシフィック 37%	米州 27%	EMEA 18%
-----------	-------------------	-----------	-------------

T&M: Test & Measurement    PQA : Products Quality Assurance

## Ⅱ - 1. 連結決算概要 - 業績サマリー

### ➡ 増益基調を維持

(単位：億円)

国際会計基準(IFRS)	前第3四半期 連結累計期間 (4-12月)実績	当第3四半期 連結累計期間 (4-12月)実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率(%)
受注高	636	642	6	1%
売上高	623	623	0	△0%
営業利益	17	27	10	60%
税引前利益	12	26	14	117%
当期利益	7	15	8	107%
当期包括利益	9	30	21	252%

(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

## Ⅱ - 2. 連結決算概要 - 事業別売上高・営業利益 -

➡ T&Mは営業利益前年並みに回復

➡ PQAは増収・増益を継続

(単位：億円)

国際会計基準(IFRS)		前第3四半期 連結累計期間 (4-12月)実績	当第3四半期 連結累計期間 (4-12月)実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率(%)
T&M	売上高	426	401	△ 25	△ 6%
	営業利益	7	7	0	△ 8%
	(調整後営業利益)	(10)	(10) *	(0)	(△ 6%)
PQA	売上高	139	161	22	16%
	営業利益	6	13	7	112%
その他 (含：内部消去)	売上高	58	60	2	5%
	営業利益	3	6	3	121%
合計	売上高	623	623	0	△ 0%
	営業利益	17	27	10	60%
	(調整後営業利益)	(20)	(30)	(10)	(52%)

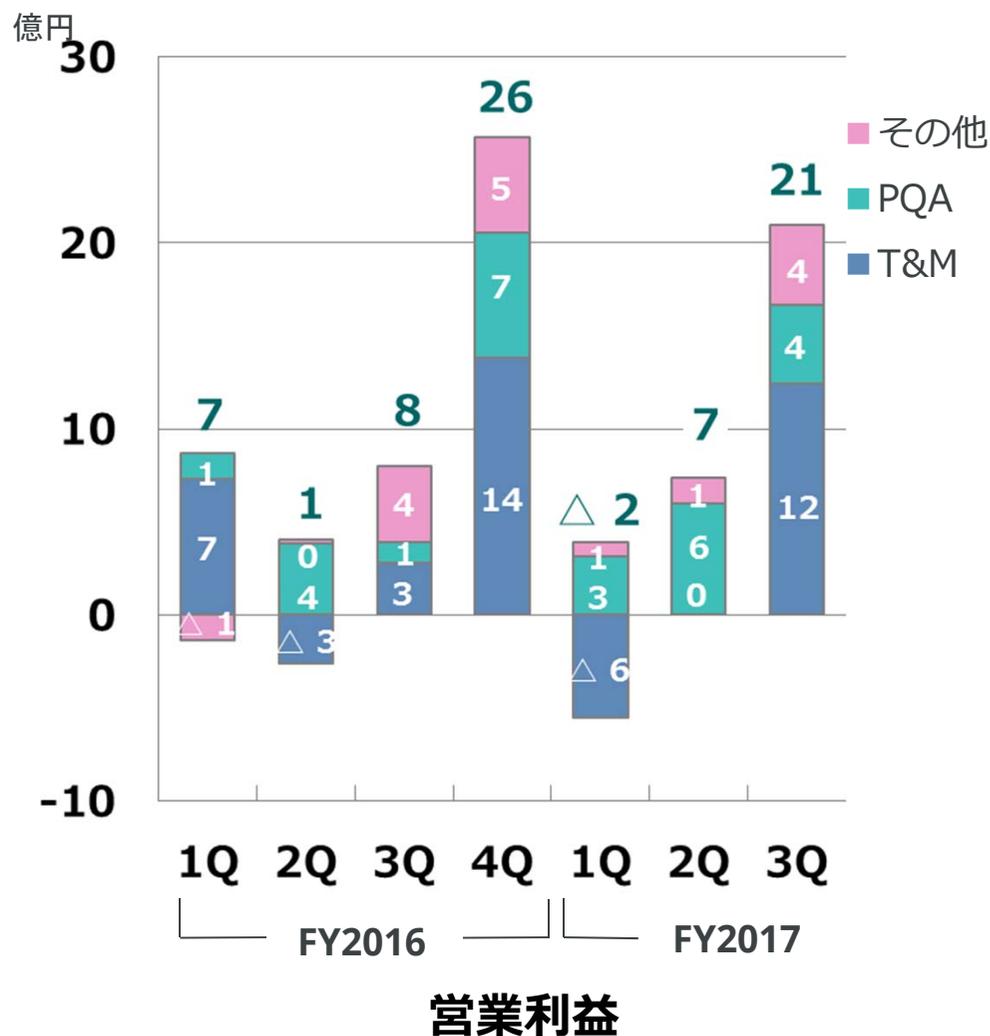
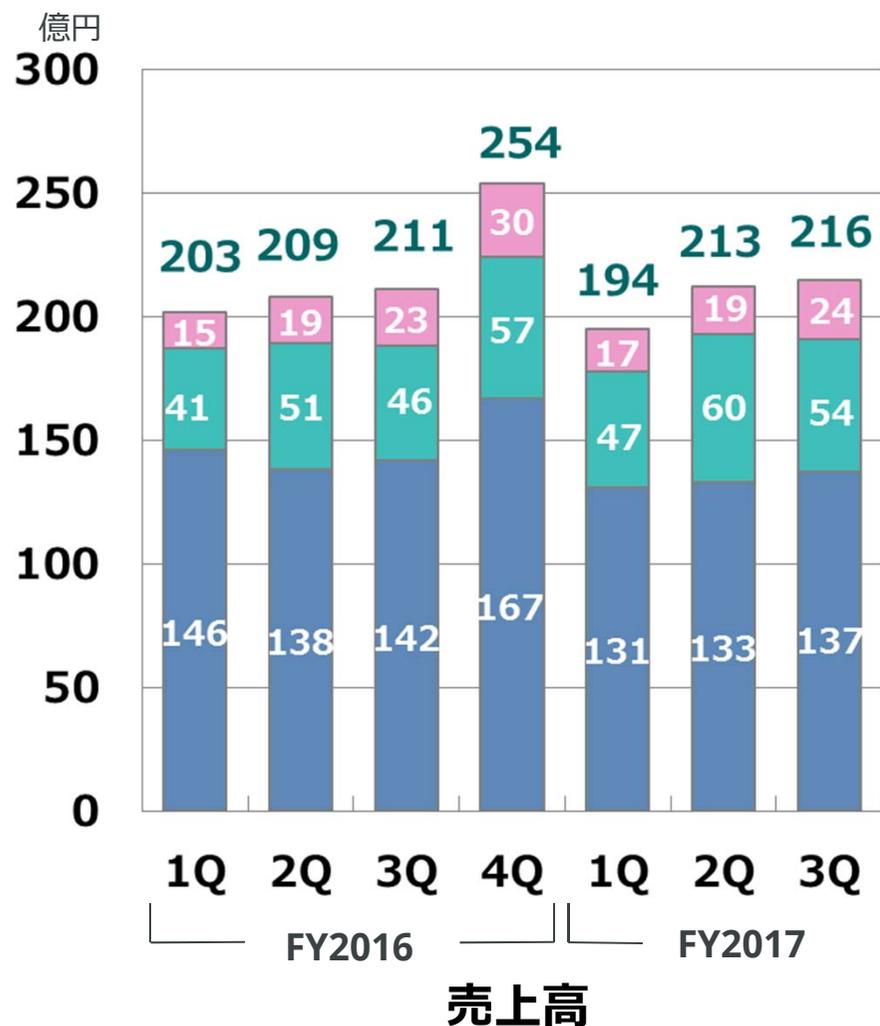
(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

\*T&M調整後営業利益は、米国でのリストラ費用3億円を控除した数値です。

T&M: Test & Measurement    PQA : Products Quality Assurance

## Ⅱ - 3. 連結決算概要 - 四半期毎 売上高・営業利益 -

➡ 3Q(10-12月)営業利益率：連結10%, T&M 9%, PQA 8%



(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

## Ⅱ - 4. 事業別営業概況

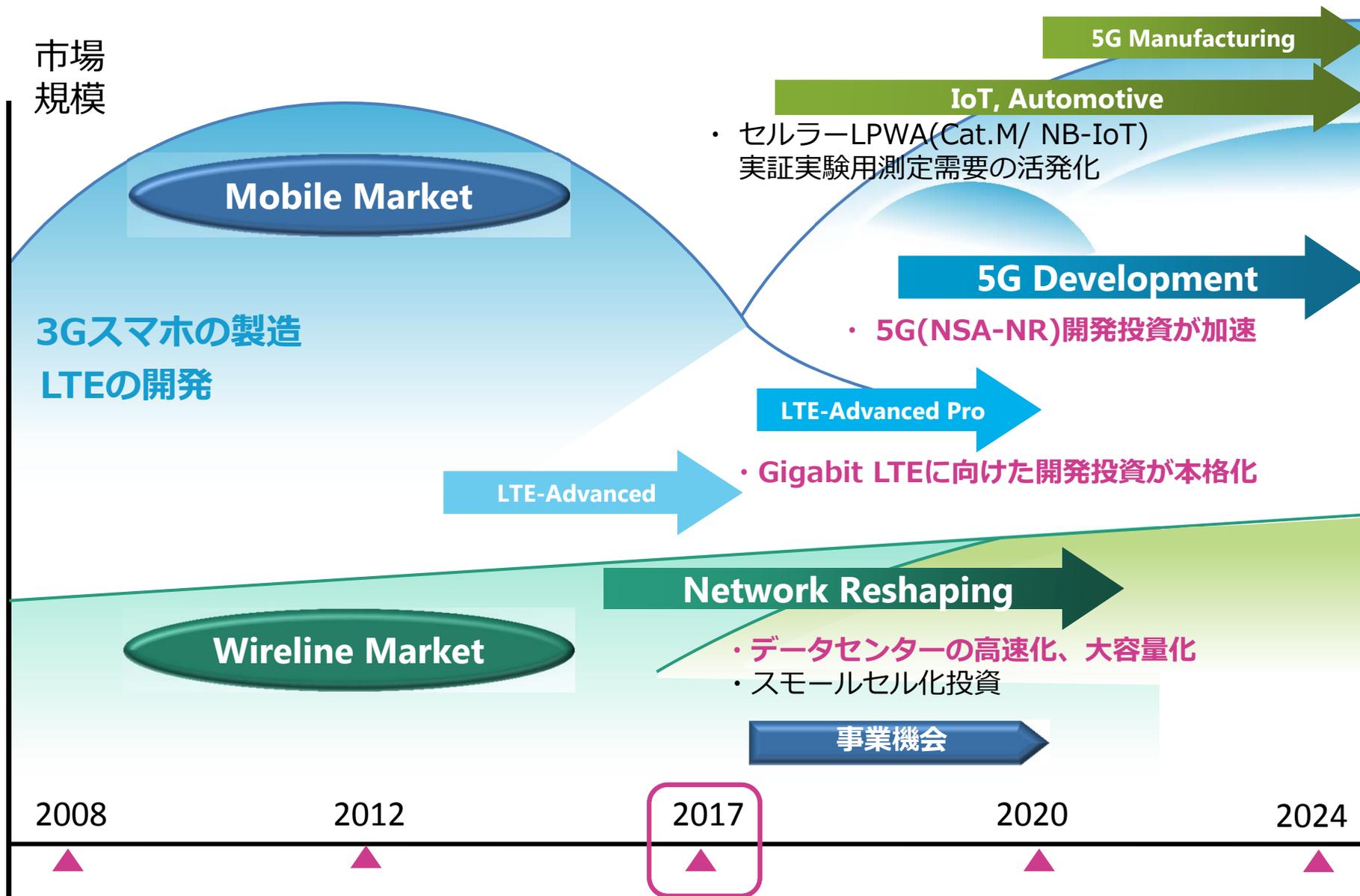
セグメント	2018年3月期第3四半期（4月-12月）の状況	
<p> <b>T&amp;M</b> : スマホ関連市場の投資抑制は更に続く</p>		
モバイル	LTE-Advanced	LTE-Advanced Proへの投資にシフト
	5G, IoT, Connectivity	5G商用化に向けた開発案件が具体化
NW	光デジタル関連への設備投資は堅調	
アジア	スマホ製造市場全体の成長鈍化で投資抑制継続	
米州	北米オペレータの基地局関連投資が縮小	
<p> <b>PQA</b> : 国内・海外とも食品メーカーの投資意欲が旺盛に推移</p>		

T&M: Test & Measurement

NW: Network Infrastructure

PQA : Products Quality Assurance

## II - 5. T&M事業 計測市場トレンドと事業機会



## Ⅱ - 6. 受注高推移

➡ T&M：上期水準並みで推移

➡ PQA：6 四半期連続で前年同期を上回る

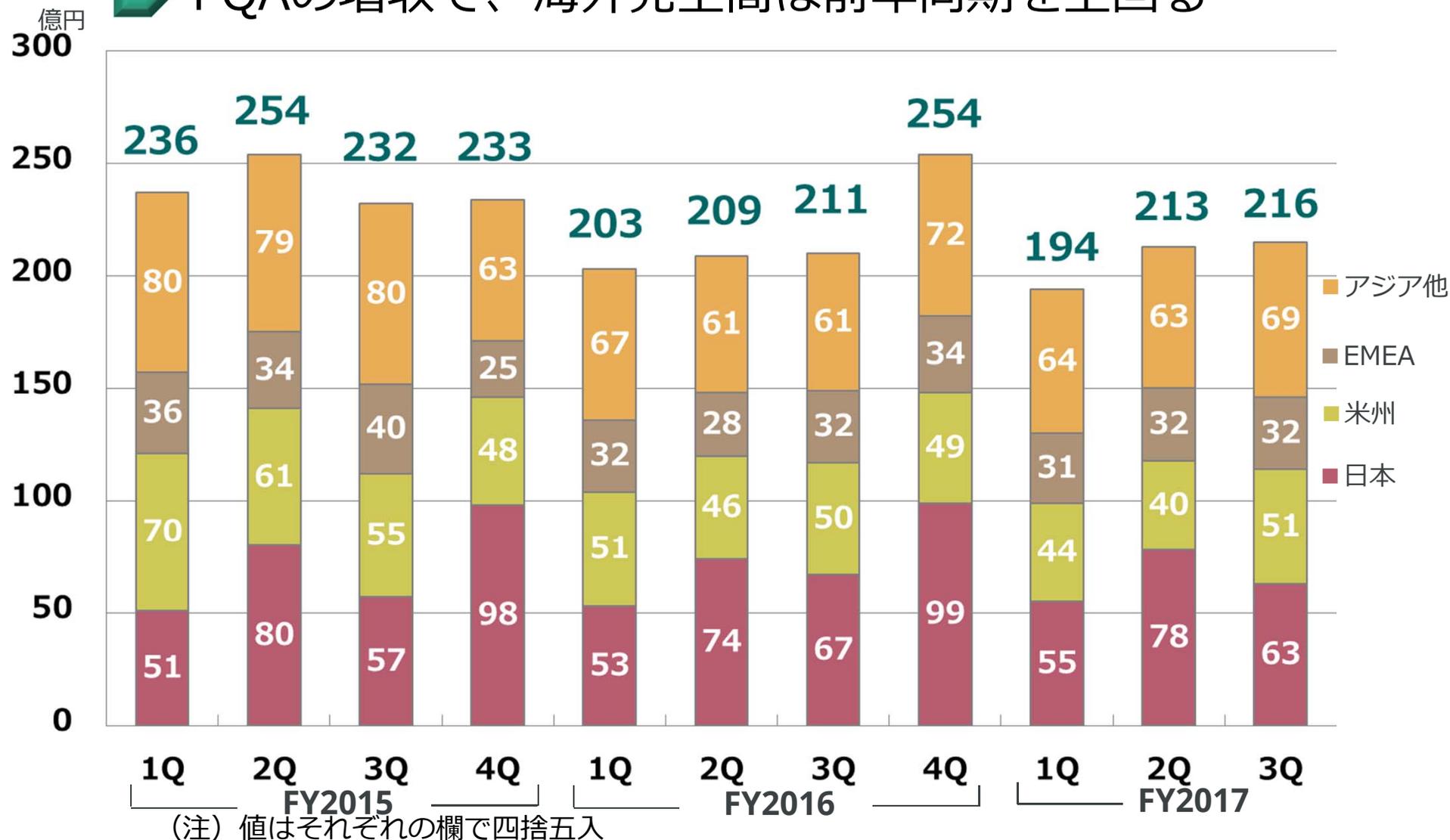
億円  
300



(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

## Ⅱ - 7. 地域別売上高推移

➡ PQAの増収で、海外売上高は前年同期を上回る



## Ⅱ - 8. キャッシュフロー

➡ 営業CFマージン率6.7%

内訳

(単位：億円)

### FY2017 Q3 (累計)

- ①営業CF： 42億円
- ②投資CF： △22億円
- ③財務CF： △81億円

### フリーキャッシュフロー

(① + ②)： 20億円

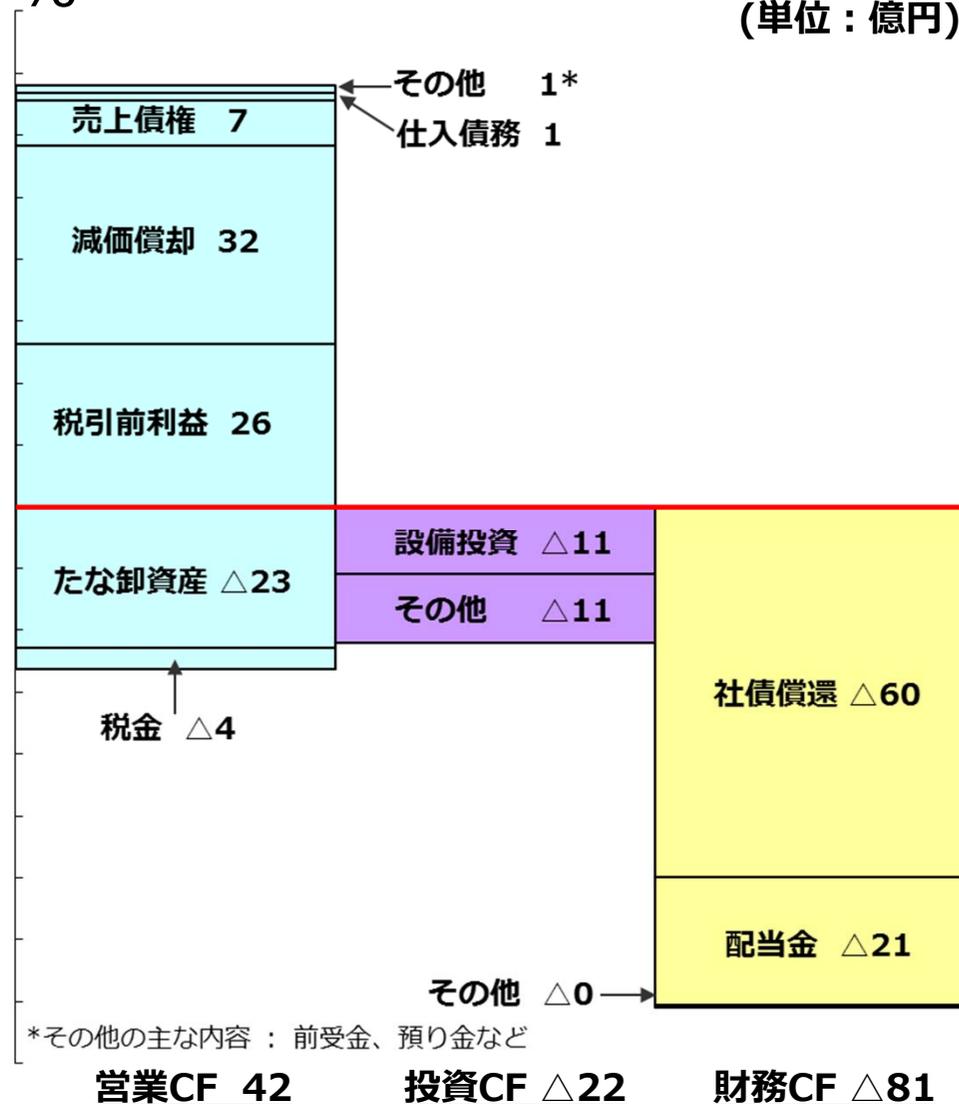
### 現金同等物期末残高

342億円

### 有利子負債高

160億円

(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入



### Ⅲ. 2018年3月期 通期業績予想（連結）

➡ 4月27日公表値のとおり

(単位：億円)

		2017/3期	2018/3期		
		前期実績	通期予想	前期比 増減額	前期比 増減率(%)
売上高		876	910	34	4%
営業利益		42	44	2	4%
税引前利益		36	42	6	16%
当期利益		27	30	3	10%
T&M	売上高	593	610	17	3%
	営業利益	21	22	1	3%
PQA	売上高	196	215	19	10%
	営業利益	13	15	2	15%
その他 (含：内部消去)	売上高	87	85	△ 2	△ 2%
	営業利益	8	7	△ 1	△ 13%

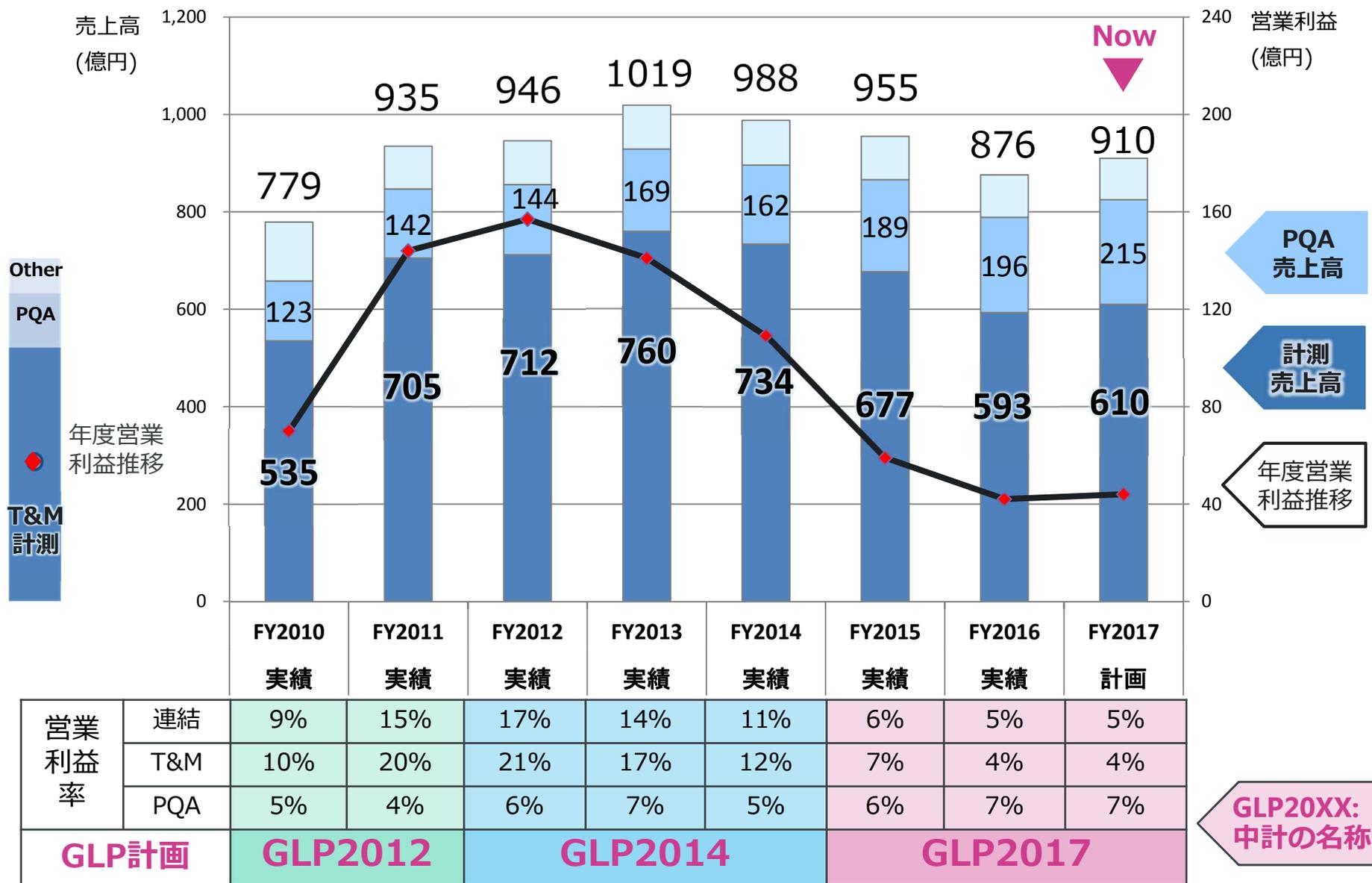
(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

(参考) FY16為替レート : 1米ドル108円、1ユーロ=119円  
 FY17期初想定為替レート : 1米ドル110円、1ユーロ=120円  
 FY17Q4想定為替レート : 1米ドル110円、1ユーロ=130円

# IV. 2018年の年頭にあたって

## - 5G / IoTで新たな時代を切り拓く -

# IV- 1. 業績推移と中期経営計画（3ヶ年、GLP）



## IV- 2. 新中期経営計画（GLP2020）の基本方針

- ✓ 『利益ある持続的成長』路線を徹底する
- ✓ 2020VISIONの実現に全力で取り組む



# IV- 3. 社会的使命を果たす ために

Anritsu way  
envision : ensure



IV- 4. 多様な社会・産業分野の課題を解決していくために、あらゆるステイクホルダーの皆さまとのパートナーシップを築いて、多くの“envision : ensure”の花を咲かせて「利益ある持続的成長」を確固たるものにしていきます。

衆知4.0を集めた全員経営の実践で、利益ある持続的成長へ







**Anritsu**  
envision : ensure

